

ワゴン車等に関するこれまでの検討経過

- 1 平成25年10月2日 稲城市地域公共交通検討協議会から『稲城市の公共交通のあり方に関する提言書』が市に提出された。

【主な内容】

- ・公共交通の見直し条件の一つとして
「バスの運行が道路構造的に困難であるなどの地域の実情や、地域ニーズの動向に合わせた運行システム（ワゴン車等の導入）を検討すること。」とされており、「下平尾地区・ワゴン車等の検討」と具体的に記載した、iバスの第Ⅰ期見直し路線案が提示された。
(平成25年8月7日 警視庁立会いのもと、iバス同型車両にて下平尾地区を試走。道路幅員や見通し等の課題から、運行困難との判断があった。)

平成26年10月1日 iバス第Ⅰ期見直し路線運行開始

- 2 平成27年1月27日 稲城市地域公共交通会議が初開催され、iバス第Ⅱ期見直し路線をはじめ、市内のさまざまな公共交通を含めた議論が開始された。

まずiバスについて検討し、その後にiバスが運行できない箇所へのワゴン車等の導入を検討すべきとの意見があり、iバスの見直し路線の決定にかかる議論を優先して行うこととした。

- 3 平成28年5月19日 平成28年度第1回稲城市地域公共交通会議にて、ワゴン車等を運行する自治体の一例と、その課題について情報共有を行った。

【主な内容】

- ・小金井市ではワゴン車両で運行している路線があるが、乗り残しが発生するほどの利用があるにも関わらず赤字となっている。
- ・小さい車両ほど採算が悪くなるため、ワゴン車両では、ほぼ満車で運行されたとしても他のコミュニティバスより赤字額が大きくなることを見込まれる。
- ・税金でごく一部地域を運行するワゴンバスの赤字を市が全部負担するという姿勢では他の地域からの理解が得られにくいと、運行地域の住民自身で運営するぐらいに、地域住民の主体的な関わりが必要。

- 4 平成28年9月1日 平成28年度第4回市民代表者合同検討会にて、ワゴン車等の運行について検討を行った。

【主な意見】

- ・高齢者や障害者、車椅子利用者などに限定してタクシー利用を補助する形がよいのでは。
- ・小型車両の事例を見ると採算が見込めないということからも、市でどこまでできるのか協議しながら進めたい。
- ・シルバーパス利用者には割高感があるため、料金設定が難しい。

5 平成28年10月4日 平成28年度第4回稲城市地域公共交通会議にて、ワゴン車等の運行について検討を行った。

【主な意見】

- ・下平尾地区で要望があるのは事実だが、要望を具体的に抽出するためにアンケート等が必要。
- ・他の地区でも今後検討が必要そうな地域がある。
- ・地域としてどのような要望・需要があるのか、移動ニーズの調査を行い、その上で仕組みの議論に進んでいくべきである。
- ・まずは要望がある地域を調査対象とし、調査方法等は地域の代表と検討が必要。

6 平成28年10月26日 平成28年度第5回市民代表者合同検討会にて、下平尾地区の公共交通に関するアンケート（案）について検討を行った。

【主な意見】

- ・実現できればモデルになると考えられるが、収支が合うことが必要であり、慎重に検討を行うべき。
- ・アンケートについては、事例等を研究した上で、具体的なワゴン車等の導入イメージができた段階で実施すべき。

7 平成28年12月19日 平成28年度第5回稲城市地域公共交通会議にて、事例研究（発表）を行った。

【主な内容】

- (小金井市、小平市、さいたま市、会津若松市、山口市、西宮市の事例などの発表)
- ・ワゴン車等は輸送力が小さい一方でコストは通常のバスとさほど変わらないため、必然的に採算が悪くなる。
 - ・コミュニティバスと同じように市が全て負担する形で導入しようとする、地域間での不公平になりかねず、地域住民の主体的な関わりが必須である。
 - ・稲城市を含め都市圏では乗り残しの危険性もある。乗り残しが発生するほどの利用があっても赤字額はコミュニティバスよりも大きくなる。
 - ・成功例に共通するワゴン車等の導入のポイントは、行政主導ではなく、地域住民が当事者として地域でしっかり議論をしているということ。

平成29年3月27日 i バス第Ⅱ期見直し路線運行開始

8 平成29年6月1日 平成29年度第1回市民代表者合同検討会にて、地域の主体的な取り組みによる事例（川崎市等）について、事例研究を行った。

【主な意見】

- ・社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携するなど、福祉関係機関を含めて市全体としての方向性をまとめていってはどうか。

9 平成29年10月23日 平成29年度第2回市民代表者合同検討会にて、介護保険制度のメニューに含めた事例や、福祉施設と地域の協働による無償運行などの事例研究を行った。

【主な意見】

- ・福祉施策なども含めた議論は、検討会のメンバーのみでは議論が難しい。稲城市地域公共交通会議において大まかな方針を出していただきたい。
- ・地域の方々や福祉の関係機関が参加する、支え合いの地域づくりに向けた課題を検討する場でも同様の話題があった。高齢福祉部門と事前調整が必要では。